

はじめに

『住民と共にすすめる新たなささえあいを目指して』



このたび、瑞穂町社会福祉協議会では、平成28年度から平成32年度までの5年間を期間とする「第5次瑞穂町地域福祉活動計画」と「第2次瑞穂町社協発展・強化計画」を2部構成で策定いたしました。

昨今、地域福祉を取り巻く状況が大きく変化しています。瑞穂町においても、高齢化率の上昇をはじめ、一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみ世帯の増加、多問題を抱える世帯の増加、児童虐待相談件数の増加、生活困窮者世帯の増大などの影響から、本会に寄せられる福祉ニーズの相談も多様化・複雑化・深刻化してまいりました。

一方で、住民主体の福祉活動やボランティア活動もここ数年めざましく推進し、小地域ごとに繰り広げられるサロン活動やそれを支援する個人・団体のボランティア、地域のNPO法人・社会福祉法人にもささえられ、活気のある福祉活動が展開されています。

このような中、このたびの計画では、従来からの原点に立ち返り、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念に、地域住民の皆様、福祉関係者、行政、企業、ボランティア団体等それぞれが協働し、連携と協力のもとに新たなささえあいの実現に向けて、地域福祉を推進してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました企画・経営委員会及び専門委員会の皆様、地域懇談会やアンケート調査にご参加・ご協力いただきました多くの皆様に対しまして、心からお礼申し上げます。

平成28年3月

社会福祉法人 瑞穂町社会福祉協議会  
会長 竹 嶋 久 雄